

1月 給食だより



令和5年1月
池田市立学校給食センター



あけましておめでとうございます



新年を迎え、気持ちも新たに3学期が始まりました。冬休み中に生活リズムが乱れてしまった人はいませんか？ 寒くて朝起きるのがつらい時期ですが、早寝・早起きをして、朝ごはんを食べて元気に登校しましょう。

1月の行事と食べ物

新年の始まりとなる1月には、この1年を無事に過ごせるように、家族の健康や幸せを願って食べられる行事食があります。

1日～正月

おせち料理



おせち料理はもともと「歳神様」へのお供え物でした。新年への願いを込めて、縁起の良い食べ物を使って作られます。

雑煮



餅の入った汁物です。昔、餅には神様の魂が宿ると言われていました。「病気になる元気に過ごせるように」という願いが込められています。

ぶりの柚庵焼き



ぶりは体が大きく成長していくにつれて呼び名が変化します。このような魚を「出世魚」と言います。出世するように願いが込められています。

芋きんとん



きんとんは、漢字で「金団」と書き、黄金色の見た目を金塊や小判に見立てて、金運に恵まれるようにとの願いが込められた料理です。

昆布佃煮



昆布は「よろこぶ」という言葉にかけた縁起のよい食べ物です。

12日(木)はお正月献立です

- ・白玉雑煮
- ・ぶりの柚庵焼き
- ・芋きんとん
- ・昆布佃煮

15日 小正月



元日を中心とした正月を「大正月」というのに対して、1月15日を「小正月」といいます。あずきの赤い色には、悪いものを追い払う力があると信じられており、小正月にあずきを食べる風習があります。

17日 防災とボランティアの日



1995年1月17日午前5時46分 阪神・淡路大震災が起きました。防災の認識と備えを目的として、この日が設けられました。17日の給食は、防災とボランティアの日 献立です。

1月24日～30日は 全国学校給食週間です **学校給食について知ろう!**

学校で食べる給食は、単なる昼ごはんではありません。栄養バランスのとれた豊かな食事を通して、健康によい食事のとり方、地域の産業や食文化、食べ物とそれに関わる人への感謝の気持ちなど、さまざまなことを学ぶための教材となるものです。給食はもともとおなかをすかせた子どもたちのために、学校で昼ごはんを提供したことが始まりでした。

学校給食の始まり



日本の学校給食は、1889(明治22)年、山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)にあるお寺の中に建てられた私立忠愛(ちゅうあい)小学校で始まったとされています。お寺のお坊さんが貧しい家庭の子どもたちに食事を用意しました。その後、学校給食は子どもたちの栄養を改善するための方法として国から奨励され、各地へ広まってきましたが、戦争による食料不足の影響で実施できなくなってしまいました。

明治 22 年ごろ	大正 12 年ごろ	昭和 17 年ごろ
<p>おにぎり 塩ザケ 漬物</p>	<p>五色ごはん 栄養みそ汁</p>	<p>すいとんのみそ汁</p>

支援物資による学校給食の再開

戦争が終わり、子どもたちの栄養状態の悪化が心配され、1946(昭和21)年にアメリカから給食用物資の寄贈を受けました。そして翌年1月から学校給食が再開されました。当初は給食用物資の贈呈式が行われた12月24日を「学校給食感謝の日」としましたが、1950(昭和25)年度からは冬季休業と重ならない1月24日から30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。



昭和 22 年ごろ	昭和 27 年ごろ
<p>ミルク(脱脂粉乳) トマトシチュー</p>	<p>コッペパン ミルク(脱脂粉乳) 鯨肉の竜田揚げ せん切りキャベツ ジャム</p>

昭和25年に、アメリカから寄贈された小麦粉でパンが作られ、「パン・ミルク・おかず」の完全給食が始まりました。

学校給食は教育活動に



1954(昭和29)年に「学校給食法」が公布・施行され、学校給食は教育活動として実施されることになりました。それから時代の移り変わりとともに、子どもたちの食生活を取り巻く環境は大きく変化し、学校給食の内容も変わっていきました。

昭和 40 年ごろ	昭和 51 年ごろ
<p>ソフトめん ミートソース 牛乳 フライポテト 黄桃</p>	<p>カレーライス 牛乳 塩もみ ゆで卵</p>

昭和30年代後半には、脱脂粉乳のミルクが牛乳へと切り替わり、コッペパン以外のパンやソフトめんなど、主食の種類が増えていきました。米飯が正式に導入されたのは昭和51年のことです。